

千曲川上流森林計画区

第三次国有林野施業実施計画書

計画期間 自 平成21年 4月 1日
至 平成26年 3月31日

中部森林管理局

この国有林野施業実施計画（以下「本計画」という。）は、国有林野管理経営規程に基づき、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即し、森林管理局長が森林計画区域内の管理経営する国有林野の箇所別の伐採、更新等について5年ごとにたてる5年間の計画である。

この本計画の計画期間は平成21年4月1日から平成26年3月31日までの5年間である。

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域	1
2	施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源かん養タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源かん養タイプの施業群別の上限伐採面積	3
	(4) 生産群別の面積等	3
	(5) 標準伐採量	3
	(6) 伐採総量	4
	(7) 更新総量	5
	(8) 保育総量	5
3	林道の整備に関する事項	6
4	治山に関する事項	7
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	8
	(1) 保護林の名称及び区域	8
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	13
6	レクリエーションの森の名称及び区域	14
7	その他必要な事項	27
	(1) 施業指標林、試験地等	27
	(2) フィールドの提供	31
	(3) レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法	32

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域
国有林野施業実施計画図による。

2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所
ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源かん養タイプにおける施業群別面積等

(単位：h a、年)

施業群		面積	施業の方法等		伐期齢 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
小面積 分散型	小面積 分散 伐区	4,787.37	育成 単層林 施業	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時モザイク的配置となることで、林齢、林相が異なる多様な森林を成立させる。 伐採方法は皆伐による。	ヒノキ 75 カラマツ 60 アカマツ 75
長伐期	長伐期	9,516.10	育成 単層林 施業	主伐は、伐期齢のおおむね2倍以上の林齢において行い、成長の旺盛な時期から主伐までの間に成長に応じた間伐を繰り返し、下層植生の発達した森林を成立させる。 伐採方法は皆伐による。	ヒノキ 150 カラマツ 100

(単位：ha、年)

施業群		面積	施業の方法等		伐期齢 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
複層型	人工林 複層伐	1,317.94	育成 複層林 施業	人工林において、複層伐により部分的に伐採し、人為により複層林化を図り複数の樹冠層を構成（階層構造）する森林を成立させる。	ヒノキ 150 [75] カラマツ 100 [60]
漸伐 複層型	天然林 漸伐 複層型	920.72	育成 複層林 施業	天然林において、漸伐により部分的に伐採し、人為的あるいは天然力により複層林化を図り複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林を成立させる。	N 200 L 120
択伐 複層型	人工林 択伐 複層型	2,749.78	育成 複層林 施業	人工林及び天然林において、択伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力により複層林化を図り複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林を成立させる。	N95 L95 (35)
	天然林 択伐 複層型	4,499.90	天然 生林 施業		
その他	その他	136.14	試験地等の設定目的による。		
合計		23,927.95			

(注) 1 林地以外の土地の面積は含まない。

2 () は回帰年、[] は複層林の初回伐採の伐期齢である。

(3) 水源かん養タイプの施業群別の上限伐採面積 (単位：ha)

施業群	上限伐採面積
小面積分散型	368.26
長伐期	317.20
複層型	87.86
漸伐複層型	23.02
択伐複層型	505.33

(注) 上限伐採面積は、計画期間(5年)分の面積である。

(4) 生産群別の面積等 (単位：ha、年)

生産群	面積	生産目標等			伐期齢
		樹種	生産目標	期待径級	
ヒノキ中径材	678.69	ヒノキ	芯持柱材を主とした生産	26cm	75
カラマツ中径材	3,641.67	カラマツ	「信州カラマツ」の銘柄化に対応した一般建築用材や装飾材・集成材等の木工用材を主とした生産	26cm	60
アカマツ中大径材	287.81	アカマツ	一般建築材の多様な需要に対応した生産	30cm	75
人工林中大径材択伐	94.03	針葉樹 広葉樹	人工林内に生育する有用天然性稚幼樹等を積極的に育成し、多様な需要に対応した多様な樹種の生産	30cm	95 [35]
天然林中大径材択伐	54.91	針葉樹 広葉樹	一般建築材や高級家具材等の木工用材の多様な需要に対応した生産	38cm 38cm	200 120
その他	56.00	試験地等の設定目的による。			
合計	4,813.11				

(注) 1 林地以外の土地の面積は含まない。

2 期待径級は胸高直径である。

(5) 標準伐採量

当該計画区の資源の循環利用林の面積5,371.07haのうち68%は分収造林契約に基づく分収造林及び分収育林契約に基づく分収育林であり、それ以外の循環利用林の面積は僅小であるため標準伐採量は定めない。

(6) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分		林 地					林 地 以 外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐 採 量	計		
水 土 保 全 林	国 土 保 全 タ イ プ			(787.40) 52,997	52,997			
	水 源 か ん 養 タ イ プ	小 面 積 分 散 型	1,190	71,368	72,558			
		長 伐 期		123,460	123,460			
		人 工 林 複 層 伐	332	10,050	10,382			
		人 工 林 択 伐 複 層 型		36,592	36,592			
		そ の 他		1,804	1,804			
		小 計	1,522	(4,091.47) 243,274	244,796			
	計	1,522	(4,878.87) 296,271	297,793				
森 林 と 人 と の 共 生 林	自 然 維 持 タ イ プ			(8.22) 507	507			
	森 林 空 間 利 用 タ イ プ			(575.93) 34,898	34,898			
	計			(584.15) 35,405	35,405			
資 源 の 循 環 利 用 林	ヒ ノ キ 中 径 材			(99.45) 5,649	7,064			
	カ ラ マ ツ 中 径 材		1,415	(797.09) 53,977	87,477			
	ア カ マ ツ 中 大 径 材		33,500	(61.04) 2,512	2,512			
	人 工 林 中 大 径 材 択 伐			(1.80) 81	81			
	そ の 他			(7.77) 802	1,018			
	計		216	(967.15) 63,021	98,152			
合 計			(6,430.17) 36,653	431,350	18,650	450,000	450,000	
年 平 均			(1,286) 7,331	86,270	3,730	90,000	90,000	

(注) () 書きは間伐面積である。

(7) 更新総量

(単位：h a)

区 分		水 土 保 全 林			森 林 と 人 と の 共 生 林			資 源 の 循 環 利 用 林	合 計
		国 土 保 全 種 別	水 源 かん養 種 別	計	自 然 維 持 種 別	森 林 空 間 利 用 種 別	計		
人 工 造 林	単 層 林 造 成		6.46	6.46		2.22	2.22	88.94	97.62
	複 層 林 造 成		2.54	2.54					2.54
	計		9.00	9.00		2.22	2.22	88.94	100.16
天 然 更 新	天 然 下 種 第 1 類								
	天 然 下 種 第 2 類								
	計								
合 計			9.00	9.00		2.22	2.22	88.94	100.16

(8) 保育総量

(単位：h a)

区 分		水 土 保 全 林			森 林 と 人 と の 共 生 林			資 源 の 循 環 利 用 林	合 計
		国 土 保 全 種 別	水 源 かん養 種 別	計	自 然 維 持 種 別	森 林 空 間 利 用 種 別	計		
保 育	下 刈		25.29	25.29				7.53	32.82
	つる切	95.11	1,065.16	1,160.27	2.25	201.78	204.03	12.72	1,377.02
	除 伐	118.69	497.43	616.12	0.81	39.07	39.88	6.59	662.59
	枝打ち		55.00	55.00					55.00

3 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基幹・その他別	開設・改良別	路線名	林班・箇所	延長	備考
基幹	開設	大 門 西	1115~1117	4,600	
	改良	菅 の 沢	2箇所	20	
		浅 間	3箇所	210	
		白岩三川(上栗生)	2箇所	100	
		四方原(茂来山)	2箇所	40	
		南八ヶ岳(白駒)	3箇所	100	
		大 門 東	4箇所	300	
		大 門 西	8箇所	800	
		御代田三石	3箇所	200	
	計			1,770	
その他	開設	男 女 倉	1132-II	2,300	
	改良	ナ ル ウ 沢	1箇所	20	
		一 平 沢	1箇所	20	
		さ む い 沢	2箇所	50	
		滝 ケ 沢	4箇所	200	
		下 平 尾	2箇所	40	
		屋 敷 入 奥	2箇所	80	
		雪 入	1箇所	30	
		土 屋	1箇所	20	
		男 女 倉	2箇所	20	
室 賀		1箇所	20		
小 瀬 山	2箇所	60			
車 坂	1箇所	10			
計			570		
合計	開設			6,900	
	改良			2,340	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

4 治山に関する事項

(単位：保全施設 箇所、保安林の整備 ha)

位 置	区 分	工 種	計 画 量
3~7・9~14・24・35~37・39・41・44~46・58・59・71・75・81~83・85・86・1001・1002・1031~1038・1040・1069・1070・1135~1142・1156・1161・1162・1166~1174・1180~1182・1188・1189・2001・2002・2032・2034・2035・2073~2076・2080~2083・2098・2099・2106~2109・2123~2127・2134~2139・2141・2142・2149~2153・2155	保全施設	溪間工	33
3~7・9・10・13・35・36・41・52・53・58・59・72・74・75・82・83・9192・1031・1033~1035・1040・1041・1069・1070・1137~11421152・1154~1156・1162・1166~1173・1181・1182・1188・20012012・2032・2034・2084・2086・2087・2102・2103・2107・21232139・2141・2142・2153	保全施設	山腹工	31
1001~1003・2001・2002・2077・2080・2083~2085	保全施設	その他	3
1・2・4~15・20・28~31・33~35・40~46・48・49・51・55・60・6573・74・76・79~83・86・89・92・1002・1003・1005~1007・10091011・1014・1015・1022・1024~1026・1028~1030・1034・10351039・1042・1043・1045~1047・1049・1052・1054~1059・1062~1070・1105・1107・1110・1113~1116・1118~1126・1128~11301132~1142・1145~1147・1152・1154~1156・1161~11751177・1178・1181~1185・1187・1189・2001・2002・2005・20082016・2017・2019~2022・2024・2025・2028・2032・2034・20362039・2041・2044・2045・2047・2050・2056・2058~2060・20632066~2073・2075~2078・2080・2105・2106・2108~2112・2114~2121・2123~2125・2127~2132・2136・2138~2141・2145~2147・2165	保安林の整備	保育外	3,840
	保全施設	溪間工	33
		山腹工	31
		その他	3
	保安林の整備	保育外	3,840

(注) 1 保全施設の計画量「箇所数」は「単位流域」数を表す。

2 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

当計画区は貴重な自然環境としての天然林等が多数存在するため、国有林野事業の管理経営との調整を図りつつ適切に保護・保存を図って行くこととする。

また、緑の回廊を設定し、森林生態系の構成者である野生動植物の多様性の保全を図ることとする。

(1) 保護林の名称及び区域

(単位：ha)

種 類		林 木 遺 伝 資 源 保 存 林		
名 称	新 設 既設別	面 積	特 徴 等	施 業 等
小 浅 間 カ ラ マ ツ	既 設	51.62	天明3年(1783年)浅間山大噴火後天然更新したカラマツの遺伝資源を保存する。	原則として伐採は行わない。 ただし、保存対象樹種の安定的かつ恒久的な存続を図るために必要な場合は枯損木及び、被害木の除去を中心とした弱度の択伐を行う。
赤 谷 コ ナ ラ 等	既 設	13.04	コナラ、ケヤキ、クリ等の資源が群生する赤谷一帯の天然林を遺伝資源として保存する。	
海 尻 ミ ズ ナ ラ 等	既 設	9.49	シオジ、サワグルミ、ミズナラ等の資源が群生する海尻地域の天然林を遺伝資源として保存する。	
金 峰 山 ア オ モ リ ト ド マ ツ	既 設	23.97	アオモリトドマツ等の資源が群生する国師岳一帯の天然林を遺伝資源として保存する。	
面 積 計		98.12		

(単位：ha)

種 類		植 物 群 落 保 護 林		
名 称	新 設 既 設 別	面 積	特 徴 等	施 業 等
鹿 伏 山	既 設	615.76	コメツガ・ウラジロモミ・トウヒ等を主とする亜高山性針葉樹林の植生を保護する。	原則として、人手を加えずに自然の推移に委ねた保護管理を行う。
美ヶ原	既 設	458.86	コメツガ・ウラジロモミ・トウヒ・シラカンバ・ミズナラ・カエデ等豊かな樹種で構成された針広混交林の植生を保護する。	
浅間山 霧上の松	既 設	4.75	「霧上の松」として知られた形質成長ともに優良なアカマツ天然林の群落を保護する。	
浅間山 カラマツ	既 設	1.49	我が国最古の人工林で「嘉永3年(1850年)」、小諸藩によって植栽されたと言われるカラマツ人工林を保護する。	
浅間山 高山	既 設	121.30	カラマツ・ウラジロモミ等が散在する林内に自生するレンゲツツジ・スズラン・ヤナギラン等の高山植物の群落を保護する。	
金峰山 カラマツ	既 設	1.52	亜高山帯に生育するカラマツ天然林の希少な群生地を保護する。	
白駒 コメツガ	既 設	183.34	亜高山帯のコメツガ純林に近い植生を保護する。	

(単位：h a)

種 類		植 物 群 落 保 護 林		
名 称	新 設 既 設 別	面 積	特 徴 等	施 業 等
八ヶ岳 高山	既 設	221.26	八ヶ岳連峰の横岳から硫黄岳にかけて生育する天然記念物に指定されているヤツガタケヤエキバナシャクナゲを始めとする八ヶ岳固有の植物を含む高山植物群落を保護する。	原則として、人手を加えずに自然の推移に委ねた保護管理を行う。
金 峰 山	既 設	409.41	ツガザクラ・コケモモ等豊富な高山植物群落を保護する。	
面 積 計		2,017.69		

(単位：ha)

種 類		特 定 地 理 等 保 護 林		
名 称	新 設 既 設 別	面 積	特 徴 等	施 業 等
浅 間 山	既 設	1,746.87	なだらかな景観を有す浅間山、火山活動跡の石尊山、小浅間、黒斑山一帯の溶岩流の奇石群等の特異な地形・地理を保護する。	地形・地質等の特性を踏まえ原則として森林施業は行わない。なお、保安施設事業の実施に当たっては、自然景観に配慮した工種・工法を採用し適切に行う。
兜 岩	既 設	36.57	クリ・ミズナラ等天然林の樹海から突出した岩峰の兜岩一帯の特異な地形・地質を保護する。	
面 積 計		1,783.44		

(単位：ha)

種 類		特 定 動 物 生 息 地 保 護 林		
名 称	新 設 既 設 別	面 積	特 徴 等	施 業 等
大 門 山 大 型 鳥 類 生 息 地	既 設	94.49	大型鳥類の生息地を保護する。	原則として、人手を加えずに自然の推移に委ねた保護管理を行う。
面 積 計		94.49		

(単位：ha)

種類		郷土の森		
名称	新設 既設別	面積	特徴等	施業等
菅 湿	平原 既設	50.28	ハンノキ・ヤチダモ・ハルニレ等の広葉樹を主とした天然林に抱かれた湿原地帯特有な植生と景観を郷土の象徴として保護する。	郷土の森の保護・管理に当たっては各「郷土の森保護管理計画書」により適切に行う。
御座山	既設	175.39	古くから神が鎮座する山として地元住民から信仰されている御座山を郷土の象徴として保護する。	
面積計		225.67		

(2) 緑の回廊の名称及び区域

(単位：km、ha)

種類		緑の回廊			
名称	新設 既設別	延長	面積	位置 (林小班)	特徴等
緑の回廊 八ヶ岳	既設	21	2,155.83 (5,831.63)	69ほ、71ほ・ほ・イ・ロ、72ほ・に・と・ち・ イ・ロ、73た・う、75と・ち、77ほ・に、78ほ ~と・イ、80ほ~ほ・イ・ロ、82ほ~と・ロ~へ、 83つ・な・く、84へ・ち・り、85ろ・へ~り・わ ~よ・ハ、86い~わ、91と・ち・イ、92に・へ・ と・ち・イ・ニ、93ほ・へ・り・ぬ、117へ・と、 2164と・ち・イ・ロ、2165ろ・イ・ロ	<p>緑の回廊設定区域は、千曲川上流森林計画区の蓼科山から伊那谷森林計画区の八ヶ岳連峰編笠山までの稜線を結ぶ区域で、八ヶ岳皷枯山植物群落保護林、白駒コメツガ植物群落保護林、八ヶ岳高山植物群落保護林、西岳カラマツ植物群落保護林、西岳ヤツガタケトウヒ等林木遺伝資源保存林の各保護林を連結し、野生動植物の移動経路を確保し、生息・生育時の拡大と相互交流を促す等森林生態系の保護・保全を図ることを目的とする。</p> <p>林況は亜高山帯のシラベ・コメツガ等の針葉樹天然林と高山帯で構成されている。施業については「緑の回廊八ヶ岳設定方針」による。</p>

(注) () 書きは 伊那谷森林計画区と合わせた緑の回廊設定総面積である。

6 レクリエーションの森の名称及び区域

(単位：ha)

種類		自然休養林			
名称	新・改 既設別	面積	位置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 等
湯の丸・ 高 峰	既 設	1,374.78	付表 1 のとおり	<p>なだらかな景観を有す湯の丸から高峰にかけての山岳と高原台地を有する地域である。</p> <p>亜高山性のコメツガ・シラベ・ダケカンバ等の天然林とカラマツ壮齢人工林等の森林と池ノ平等の高層湿原等で構成され、自然教育・探勝の場として、またスキー場等の野外スポーツの場として四季をとおして利用されている。</p>	付表 1 のとおり
北八ヶ岳	既 設	891.35	付表 2 のとおり	<p>当地域は東信・南信両森林管理署にまたがり北八ヶ岳の景勝地を占める森林である。亜高山性のシラベ・コメツガに囲まれた神秘的な白駒の池・双子池等の湖沼と山岳が一体となり、自然資源が豊富であり、自然探勝的な利用や野外スポーツの場として四季をとおして利用される場である。</p>	付表 2 のとおり
面 積 計		2,266.13			

(単位：ha)

種 類		自 然 観 察 教 育 林				
名 称	新・改 既設別	面 積	位 置 (林 小 班)	選 定 理 由	施 業 等	
奥女神	既 設	81.85	1108い・は・へ・ り、1110に・へ、1 111ろ・と ----- 1108い・ハ・ホ、1 110ホ・ヌ、1111 ニ	カラマツ壮齡人工林を主 にした地域で、隣接す る民有地の女神湖を中 心とした宿泊・レジャー施 設と一体となって自然 観察・探勝の場として 利用されている地域で ある。	林況はカラマツ人 工林が主体で一部に クリ・ミズナラ等が 混入している。将来 は天然発生するウラ ジロモミ、トウヒ・ カンバ・カエデ等の 導入を図り、針広混 交林に誘導する。	育成複層 林施業 ----- 林地以外
追 分	既 設	238.99	2068い・と・ち、 2069全、2070い ~り、2071い~ と・か・れ・そ・ね・ な、2072い~む ----- 2071ち~わ・よ・ た・つ ----- 2070い・ロ、207 2イ~り	雄大な浅間山を背景に したアカマツを主とする森 林で、周辺民有地には 林間学校施設や別荘等 が多く自然とのふれあ い、体験林業、自然観 察教育の場として利用 されている。	アカマツ・カラマツ の人工林及び天然林 の中にカバ・ミズナラ・カ エデ等の広葉樹が侵入 しており、今後も調 和のとれた針広混交 林に誘導するととも に自然観察教育の場 として活用する。	育成複層 林施業 ----- 天然生林 施業 ----- 林地以外
軽井沢	既 設	101.84	2101い~り・わ れ、2102全 ----- 2101ぬ・る ----- 2101い~ハ	カラマツ人工林にクリ・ミズナ ラ・ハルニレ等の広葉樹が適 当に混交した林相で国 設軽井沢野鳥の森にも 指定されている区域で ある。カラ類を始め多 数の野鳥が生息・飛来 し林内には野鳥観察小 屋等が設置され野鳥等 の観察をとうして自然 教育の森として適して いる。	カラマツ人工林にクリ・ミ ズナラ・ハルニレ等の広葉樹 が適当に混交し、多 数の野鳥が生息して おり、野鳥の棲み分 けを念頭に、多種多 様な植生、高低差の ある森林に誘導する とともに栽餌木の導 入や、必要に応じた 草原などのオープン スペースの設置など 野鳥の生息環境に配 慮した施業を行う。	育成複層 林施業 ----- 天然生林 施業 ----- 林地以外

(単位：ha)

種 類		野 外 ス ポ ー ツ 地 域				
名 称	新・改 既設別	面積	位 置 (林 小 班)	選 定 理 由	施 業 等	
菅 平	既 設	265.51	1046む、1050わ・よ ~れ、1051る、1052 お、1071い~と・か~ な・む・う、1073は~ そ、1074い~に・へ・ と・り~る・た~そ・な ら・う・の ----- 1071イ~ニ、1073ロ ~ト、1074イ~ハ	昭和35年開設し た国設スキー場で菅 平高原の一角を占め カラマツ人工林の中 に初心者から上級者 まで楽しめるコース 設定され近隣のスキ ー場と一体となって 利用されている。	カラマツ人工林に一 部クリ・カンバ等の天 然林が点在している。 天然林は現状の維持を 基本し、人工林は針広 混交林に誘導すること とする。	育成複層林施 業 ----- 林地以外
和田峠	既 設	57.73	1136う・り~る・か~ つ・あ~き・め~し・す・ん 6・ん7 ----- 1136け・え・ひ・ん2 ----- 1136ロ~ホ・ト~リ・ル 1・レ~ツ・ナ~ム	八ヶ岳中信高原国 定公園の中央部の、 和田峠に位置し、カ マツ壮齡林と草原地帯 内のファミリー型のスキー場 となっている。	カラマツ人工林を主 とした森林で、将来は 針広混交のに誘導す る。	育成複層林施 業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外
大 門	既 設	127.88	1116い~は・ち・ぬ・ る・か~れ・つ~く・こ・ て・あ~め・ひ~せ ----- 1116わ・や~ふ・え ----- 1116ハ~ホ・チ・リ・ ル・ワ	昭和54年設定さ れスキー場で民有地 の木平保健休養地等 ともに近隣の各スキ ーと一体で利用され てる。	若齡のカラマツ人工 林を主とした森林で、 将来は針広混交の大樹 の森に誘導する。な お、カラマツ人工林 は、常緑針葉樹及び広 葉樹の導入を図り、美 的景観の確保に努め る。	育成複層林施 業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外
鷹 山	既 設	213.98	東信 1118い~な、1119 は、ほ~わ ----- 1119に ----- 1118イ~ニ	昭和60年開設し たスキー場で近隣の スキー場・北白樺ふ れあいの郷等と一体 となって利用された いる。	若齡のカラマツ人工 林を主とし、一部にウ ラジロモミ・トウヒ・ シラベ等の人工林があ る。人工林は間伐を繰 り返しながら大樹の森 に誘導する。なお、カ ラマツ人工林について は必要により常緑針葉 樹及び広葉樹の導入を 図り、美的景観の確保 に努める。	育成複層林施 業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外
面 積 計		665.10				

(単位：ha)

種類		風景			林	
名称	新・改 既設別	面積	位置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 等	
角 間	既 設	198.77	東信 1031ろ~と ----- 1031い・ち、103 8ほ ----- 1031イ・ロ、103 8イ	歴史と伝説を秘めた古くからの湯治場周辺で深い溪谷と断崖・奇岩とウラジロモミ・コメツガ等の針葉樹とミズナラ・カンバ・ケヤキ等の広葉樹林が調和した景観を構成している。	広葉樹天然林を主体の一部にカラマツ等の人工林がある。天然林は歩道等の整備を行う外は現状の維持を基本とする。人工林は針広混交林に誘導することとする。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外
保福寺 峠	既 設	5.52	東信 1177ち	松本平に通じる旧東山道峠路で、アカマツ・コメツガ・ミズナラ等の天然林に囲まれ万葉の時代以来の由緒ある箇所である。	アカマツ・コメツガ・モミ・ミズナラ・クヌギ等の針広混交の天然林であり、現状の維持に努める。	天然生林施業
万山望・ 小浅間	既 設	325.76	2083ろ・に、208 6に・ほ、2087に、 2088い、2089 い、2090い、209 2い ----- 2087ろ、2088 ろ・と、2089ろ・ へ、2090ろ・は、2 093ろ、2094い・ ろ ----- 2086イ~ニ、208 7イ・ロ、2088イ~ ホ、2089イ・ロ、2 090ハ・ニ、2092 イ、2093ロ、209 4イ	活火山の浅間山を向背に富士山・八ヶ岳連峰・秩父多摩山系等を眺望できる国道146号線の展望地と、峰の茶屋・国境平等の高原地形を有し、アカマツ及び広葉樹の天然林とカラマツ人工林が主要道路及び利用施設の背景林として美的景観を有している箇所である。	アカマツ・広葉樹の天然林とカラマツを主とする人工林で構成されている。天然林は必要に応じ間伐を行う等針広混交林に誘導する。人工林は間伐を繰り返しながら針広混交林に誘導する。なお、国道146号線周辺についてはツツジ類・コマユミ等の花木や実のなる木等を導入し、通景観賞林分を主体に育成する、また、浅間山の眺望を図るための修景施業を必要に応じ行う。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外

(単位：ha)

種 類		風 景 林			施 業 等	
名 称	新・改 既設別	面 積	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施 業	等
八 風 山	既 設	221.26	2148は、2149 ぬ・る・れ~な、215 0い・は~ほ・と~か・ た・ら、2151い・ へ・ち~る、2154ほ ----- 2148に・ほ、214 9に・は・ほ、2150 へ・よ、2151ろ ----- 2148イ、2149 イ、2150イ~ホ、2 151イ~ニ	妙義荒船佐久高原国 定公園の中核を占め、 主峰八風山の山稜部一 体のカラマツ・アカマ ツの人工林とミズナ ラ・カンバを主とする 広葉樹林が色調の変化 に富んだ森林を構成し ている。	20~90年生の カラマツ・アカマ ツ・ウラジロモミの 人工林とミズナラ・ クリを主とする天然 林で構成されてい る。人工林は間伐を 繰り返しながら針広 混交林に、天然林は 現状景観の維持を基 本としつつ車道・歩 道周辺の修景施業を 行う。	育成複層林 施業 ----- 天然生林施 業 ----- 林地以外
荒 船 山	既 設	55.59	4せ・す、5ぬ・る・ か・よ・そ・ね・な、6 か ----- 4ホ、5ハ・ニ	国道254号線内山 峠から船型の山稜を形 成している荒船山にか けての広大な台地状の 地形と懸崖、風衝地特 異の樹形を有する森林 で構成されている。	ミズナラ・クリ等 を主とする天然林と 一部カラマツ人工林 で構成されている。 現状景観の維持を基 本としつつ、駐車 場・歩道等の周辺は 修景施業を実施す る。	天然生林施 業 ----- 林地以外
荒 船 不 動 尊	既 設	9.02	6へ・る ----- 6ち・り・ま ----- 6イ・ロ	荒船不動尊の社殿を 囲む、スギ・サワラ・ ウラジロモミの高齡級 人工林で構成されてい る。荒船不動尊は戦国 の武将武田信玄をあが め建立されたもので地 元住民に信仰されてい る。	サワラ・モミ・カラ マツ・ミズナラ等の 天然林と一部にウラ ジロモミの人工林で 構成されている。人 工林は間伐を行い針 広混交林に誘導す る。天然林は現状の 維持を基本とする。	育成複層林 施業 ----- 天然生林施 業 ----- 林地以外

(単位：ha)

種 類		風 景 林			施 業 等	
名 称	新・改 既設別	面 積	位 置 (林小班)	選 定 理 由		
中山峠	既 設	277.03	82は・に・へ・と ----- 80イ、82イ～ト	八ヶ岳連峰の中山峠 周辺のシラベ・コメツ ガ等の亜高山性樹種に 覆われた箇所、陰し い岩壁を有する稲子 岳、緑池等と調和した 森林を構成している。	シラベ・アオモリ トドマツ・コメツガ 等の亜高山樹種で構 成され、高山帯には シャクナゲ等の植生 も見られる。現状景 観の維持を基本と し、歩道等の施設に 係る危険木等の処理 にとどめる。	天然生林 施業 ----- 林地以外
夏沢峠	既 設	235.46	78ほ・と ----- 78イ～ニ	南北八ヶ岳を分ける 夏沢峠周辺のシラベ・ コメツガ等の亜高山性 天然林に覆われた箇所 で、爆裂火口壁を有す る硫黄岳等と調和した 森林を構成している。	シラベ・アオモリ トドマツ・コメツ ガ・ダケカンバ等の 亜高山樹種で構成さ れている。現状景観 の維持を基本とし、 歩道等の危険木等の 処理にとどめる。	天然生林 施業 ----- 林地以外

(単位：ha)

種 類		風 景			林	
名 称	新・改 既設別	面 積	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 等	
ビーナス ライン	既 設	468.63	1136に・ハ・ち・ わ・ね〜う・お・ゆ・ も・せ・ん1・ん3・ん 4・ん5・ん8、113 9ハ・と・る・わ・よ〜 そ、1140は・と・ る・た〜な・う・の・ふ 〜え・ゆ〜み、1141 ろ・ハ〜リ・わ〜よ・ れ・ね・な・む、114 2ハ	三峰山周辺の尾根筋 一体の矮性化したカラ マツにコメツガ・ダケ カンバ等が生育し多彩 な森林景観を呈してい る箇所でビーナスライ ンをベースにした眺望 景観と相まって優れた 景観を構成している。	矮性化したカラマツ にコメツガ・ダケカ ンバ等で構成され多 彩な森林景観を有し ていることから現状 景観の維持を図りつ つ道路・歩道沿線の 修景施業を行う。	育成複層 林施業
			1139ほ・か、114 0よ・ら・む・お・く・ き・し・ひ、1141 る・そ・つ 1142 と・る			天然生林 施業
			1136イ・ヌ・ル0 2・ワ〜タ・ネ、113 9イ・ニ〜カ、1140 イ〜チ、1141ロ・ ハ・ホ〜ト、1142ロ			林地以外
大法寺	改 設	72.08	1185い〜く・や1 〜や3・ま〜し・ひ 1・ひ2・も・せ1・せ 2・す・ん1〜ん1 0・ん18〜ん33 1185ん11〜ん1 7	国宝三重塔を有する 大法寺の向背林で、ア カマツを主とする天然 林は見返りの塔と呼ば れる三重塔と調和した 風致景観を構成してい る。	アカマツ天然林と 人工林で構成されて いる、間伐を繰り返 えしながら針広混交 林に誘導することと する。	育成複層 林施業 天然生林 施業

(単位：ha)

種 類		風 景 林			施 業 等	
名 称	新・改 既設別	面 積	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 等	
蓼科山	改 設	339.68	2164にり、 2165り、 ----- 2164イ・ロ、 2165イ・ロ	独立峰の蓼科山山頂 周辺の亜高山性天然林 と高山帯から構成され 山頂からは南北アルプ ス・浅間山・八ヶ岳山 系等の眺望が素晴らし く年間7万人近くの登 山者に親しまれている	現状景観の維持を 基本としつつ、歩道 等の施設に係る危険 木等の処理を行う。	天然生林 施業 ----- 林地以外
面 積 計		2,208.86				

(単位：ha)

種 類		風 致 探 勝 林			施 業 等	
名 称	新・改 既設別	面 積	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 等	
北白樺	既 設	56.70	1121はり・か・ よ・れ・そ ----- 1121ホ・チ・リ・ル	国道152号線通称 大門街道に接し、昭和 61年設定の北白樺ふ れあいの郷と周辺のカ ラマツ人工林で構成さ れ、蓼科山等の眺望に 優れ自然探勝の場とし て利用されている。	カラマツ若齢人工 林で構成されてい る。林間に「ふれあ いの郷」別荘団地が 整備されているが、 さらに快適な居住空 間とするため修景施 業等が必要である。 カラマツ一斉林につ いては間伐を行い広 葉樹の導入を図り針 広混交林に誘導す る。	育成複層 林施業 ----- 林地以外

(単位：ha)

種類		風 致 探 勝 林				
名称	新・改 既設別	面積	位置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 等	
美ヶ原	既 設	338.27	1149ほ・へ、116 2な ----- 1147の、1148 ほ・へ、1149に・ と・る~か、1154 た、1156ほ、115 7ち、1158ほ・ほ、 1159ろ・に~り ----- 1141イ、1147 イ、1148イ~ハ・ホ ~ト、1149イ~チ・ ヌ・ル、1157イ・ ロ・ニ、1159イ~ ネ、1160ロ・ホ・ ト、1161イ・ロ、1 162イ・ハ	美ヶ原高原の台地状 に設定され、宿泊施 設・広場・園地・牧場 等と相まってドライブ やハイキングに広く利 用されている。台上か らは遠くは富士山・南 北アルプス等雄大な山 岳景観が眺望される。	現状景観の維持を 基本としつつニッコ ウキスゲ・マツムシ ソウ・レンゲツツジ 等の高原性植生の維 持に努める。	育成複層林 施業 ----- 天然生林施 業 ----- 林地以外
千ヶ滝	既 設	129.82	2077と・り~わ・ れ・お、2080ほ~ り・よ、2084い・ ぬ・か・よ、2085ろ ~ぬ ----- 2077へ、2080 に・ぬ・た~そ、208 3は・ほ、2084と~ り・る・わ・た ----- 2084イ、2085 イ・ロ	軽井沢町の千ヶ滝中 区から千ヶ滝に至る帯 状の森林でアカマツ・ カラマツ人工林とハル ニレ等の広葉樹天然林 が適度に配置され高 低・明暗の変化に富ん だ森林と周辺民有地の 各種施設及び別荘地の 背景林として自然探勝 等に利用されている。	アカマツ・カラマ ツ人工林とハルニ レ・ミズナラ・カン バ等の天然林で構成 されている。現状景 観の維持を基本とし つつ滝周辺及び歩道 沿線の修景施業を行 う。	育成複層林 施業 ----- 天然生林施 業 ----- 林地以外

(単位：ha)

種 類		風 致 探 勝 林				
名 称	新・改 既設別	面 積	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 等	
白糸の 滝	既 設	23.64	2096る、2097い・ へ・り・る・わ ----- 2096は、2097ろ・ ぬ ----- 2096い、2097ロ	白糸ハイランドウェ イのほぼ中間に当たる 名勝白糸の滝を中心と し、ミズナラ・ハルニ シ等の広葉樹天然林と カラマツ人工林が高 低・明暗の変化を作り だし、地下水が糸状に 湧出する白糸の滝と調 和し優れた風致景観を 構成している。	<p>壮齢のカラマツ人 工林と広葉樹天然林 で構成されている。 カラマツ人工林につ いては針広混交林に 誘導する。なお、白 糸の滝上部の崩壊地 については極力人工 的な手を加えず現状 景観の維持を基本と し、崩壊が拡大し滝 そのものの景観に支 障が生じる場合は、 現状景観の修復に努 める。</p> <p>なお、信濃路自然歩 道沿線の修景施業を 実施する。</p>	<p>育成複層林 施業 ----- 天然生林施 業 ----- 林地以外</p>
面 積 計		548.43				

付表

1 湯の丸・高峰自然休養林ゾーン区分別の林小班一覧表

(単位：ha)

ゾーン区分	面積	関係林小班	施業等	
自然観察教育ゾーン	120.54	1012と1～と8 ----- 1004い～に・へ～り、1012ゆ ----- 1004ロ～ホ、1012タ	<p>湿原植生が豊かな池の平一帯は湯の丸・高峰林道と遊歩道が整備されており訪れる者が多い。湿原の保護対策として木道の整備に努め、踏み入れ防止に努める。尾根筋のコマクサの群落については人為被害の防止に努め積極的な保護管理を行う。母樹林等の一帯は現状景観の維持を基本に施設・歩道等に係る危険木等の処理を行う。</p>	<p>育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外</p>
野外スポーツゾーン	209.07	1012ち・わ・れ・ね・な・お・こ・め・し・も、1013ほ～る・の ----- 1012そ・ら～の・ゆ・ひ ----- 1012ロ～ヨ・レ～ナ・ム～オ、1013ハ～ホ・ト～カ・レ	<p>カラマツ人工林の中にスキー場、キャンプ場等が整備されているが、施設からの四季を通じた眺望景観が楽しめるように必要な間伐等の施業を行いモミ・ツガ等の常緑樹や広葉樹の混入を図り針広混交林に誘導する。</p>	<p>育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外</p>
風景ゾーン	1,045.17	1001い～り、1002リ・ぬ・か～そ、1012じ・ぬ・く、1013は・に、1014ゆ、1016ろ・ね、1017に、1018に、1020は、1021に、1032ろ、1034ろ・は、1035と・リ・ぬ、2008ほ、2011に、2012い・ろ・に、2013い～は ----- 1004ほ、1012る・か～た・ふ、1028り、1032に・へ、1033ろ、1034い・に、1035ろ、2001に、2012は ----- 1001イ・ロ、1002イ、1004イ、1012イ、1013イ・ロ、1014イ、1016イ、1017イ、1020イ、1021イ、1025イ、1026イ、1032イ、1033イ、1034イ、1035イ、2001イ、2012イ～ニ、2013イ	<p>上部の亜高山性樹種の天然林は現状の維持を基本とする。カラマツ人工林については間伐を繰り返しながら針広混交林に誘導する。チェリーパークライン沿いのカラマツ人工林は間伐を繰り返しながら広葉樹を導入し針広混交林に誘導する。林道沿線のカラマツ人工林は侵入してくる広葉樹を活かした修景施業を実施する。</p>	<p>育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外</p>

2 北八ヶ岳自然休養林ゾーン区分別の林小班一覧表

(単位：ha)

ゾーン区分	面積	関係林小班	施業等	
風景ゾーン	681.35	85い・ろ・に・へ・と・り・よ・れ、86い・る・わ、94へ・と、116ち・ぬ・そ・つ、117は・り ----- 85ほ・ち・た、86ろ・に・へ・ち・ぬ・91と・ち、92へ・ち、93と、94ち、117に・ほ ----- 85い・へ、91い・に、92い・に、116口・に、117口・ハ・ホ	シラベ・アオモリトドマツ・コメツガ等の亜高山性樹種で構成され、一部にモミ・カラムツの人工林がある。天然林は現状の維持を基本としつつ人工林については間伐を繰り返しながら針広混交林に誘導する。なお、歩道整備に当たっては危険木の処理を行い歩行者の安全確保に努める。	育成複層林施業
風致探勝ゾーン	210.00	85ぬ・る・か、92と、93ほ ----- 85は・わ、86は・ほ・り、92に、93へ・り・ぬ、117へ・と ----- 86い・へ、92口・ホ		風景ゾーンと同様な施業を行う。

7 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

(単位：ha)

種類	名称	設定年	面積	位置 (林小班)	備考
施業指標林	亜高山針葉樹林帯 漸伐	S 49年度	80.74 (64.39)	53よ 54に・ほ・と・る・わ	天然林施業体系の確立
	亜高山針葉樹林帯 漸伐	S 50年度	29.67 (11.47)	71ろ・と	天然林施業体系の確立
	広葉樹天然林	S 59年度	1.81	2141は	天然林施業体系の確立
	アカマツ・広葉樹 複層林	S 59年度	19.17 (5.00)	100い	天然林施業体系の確立
	カラマツ人工林 間伐推進	S 60年度	7.97	108り	間伐推進
試験地	菅平カラマツA種収穫 試験	S 11年度	0.88	1073ろ	(森総研)
	ハケ岳天然幼齡林 保育	S 11年度	0.44	73れ	(森総研)
	大曲カラマツA種収穫	S 15年度	1.09	105に	(森総研)
	アカマツ産地別 植栽比較	S 27年度	8.45	2019ほ	
	高峰アカマツ人工林	S 34年度	1.29	2005ぬ	(森総研)
	浅間カラマツ 産地別	S 34年度	4.14	2018は	(森総研)
	カラマツクローン	S 35年度	0.76	2018い	
	カラマツ産地	S 37年度	1.10	1024わ	(森総研)
	ハケ岳帯状更新	S 40年度	2.37	80に・81な	(森総研)
	川上帯状更新	S 40年度	7.47	52ち	(森総研)
	カラマツ間伐	S 43年度	1.10	98な	
	カラマツ・ヒノキ 二段林	S 47年度	2.25	1065か	
	ヒノキ人工林天然 更新	S 54年度	34.96	1180た他	(奈良本山実験林)
	広葉樹間伐	S 58年度	1.62	97ろ	
展示林	浅間ヒノキ・カラ マツ二段林	S 34年度	9.41	2025と1 2025と2	明治25年植栽
	浅間カラマツ優良 人工林	S 44年度	1.25	2021と	明治28年植栽
	浅間山カラマツ 精英樹クローン	S 59年度	37.54	2044つ・ね 2045ろ・た	昭和37年植栽

(注) () 書きは施業指標林設定面積で内書

(単位：ha)

種 類	名 称	設定年	面 積	位 置 (林 小 班)	備 考
次代検定林	次代関長 5号	S 45年度	1.97	2047. は	アカマツ
	関長 11号	S 49年度	2.50	1109わ・よ	カラマツ
	関長 28号	S 54年度	1.24	105. り	カラマツ
	関長 30号	S 56年度	1.50	116. れ	カラマツ
	関長 39号	S 63年度	0.92	1065 ね	カラマツ
	関長 42号	H 2年度	1.42	96つ・ね	カラマツ
	関長 44号	H 3年度	1.37	2055.い1・い2	カラマツ
	関長 45号	H 3年度	1.33	1105. に	カラマツ
	試植関長 イ号	S 37年度	2.43	2021. に	カラマツ
	関長 又号	S 40年度	3.26	2021. ぬ	外国マツ、カラマツ
	関長 ル号	S 41年度	6.65	2021. そ	マツ属、カラマツ他
	関長 タ号	S 44年度	2.79	2022. ぬ	アカマツ・ストロブ・バンクス
	関長 ツ号	S 50年度	3.54	2050. か	カラマツ
	関長 ネ号	S 50年度	6.86	2152. ぬ	カラマツ
	関長 ナ号	S 51年度	1.74	2123. ぬ	カラマツ
	関長 ラ号	S 53年度	0.65	10. う	ストロブマツ他9種
	遺伝関長 7号	S 46年度	1.96	2006. は	アカマツ
	関長 23号	S 52年度	2.87	2047. り	カラマツ
	関長 25号	S 53年度	1.77	2003. ろ	カラマツ
	関長 29号	S 55年度	0.79	1052ろ・は	カラマツ
	関長 31号	S 56年度	1.10	116. た	カラマツ
	関長 32号	S 57年度	0.50	2045. か	アカマツ
	関長 33号	S 58年度	0.88	2045. よ	カラマツ
関長 46号	H 3年度	0.86	1147. や	カラマツ	
遺 伝 子 保 存 林	長遺 1号	S 40年度	4.22	2036. た	霧上の松アカマツ
	長遺 2号	S 42年度	5.60	2025る・わ	金峰山系カラマツ
	長遺 3号	S 43年度	3.54	2025. ぬ	浅間系アカマツ
	長遺 4号	S 43年度	3.28	2025. よ	前掛系アカマツ
	長遺 5号	S 43年度	3.60	2066. へ	八ヶ岳系カラマツ
	長遺 7号	S 40年度	4.56	1116る・わ	富士山系カラマツ
	長遺 15号	S 46年度	2.06	1041. と	久々野産カラマツ
	長遺 16号	S 46年度	1.87	1041. り	古川産カラマツ
	長遺 17号	S 46年度	2.03	86. る	木曾山系大寄合産ウラジロモミ
	長遺 18号	S 47年度	3.66	8. ろ	開田マツ・アカマツ
	(9林第464号)	H 3年度	0.55	2027. ほ	カラマツ123系統

(単位：h a)

種 類	名 称	設 定 年	面 積	位 置 (林 小 班)	備 考
精 英 樹 保 護 林	カラマツ 臼田 1号	S 33年度	0.10	106に	
	カラマツ 臼田 4号	S 33年度	0.10	107ハ	
	カラマツ 臼田 5・6号	S 33年度	0.25	105ほ	
	カラマツ 臼田 7号	S 33年度	0.10	105ハ	
	カラマツ 臼田 8号	S 33年度	0.10	107ほ	
	カラマツ 臼田 9号	S 33年度	0.51	99ち	
	カラマツ 臼田 11・12号	S 33年度	0.83	99に	
	カラマツ 臼田 101号	S 33年度	0.12	84ろ	
	カラマツ 臼田 104号	S 33年度	0.24	730	
	カラマツ 臼田 107号	S 33年度	0.07	73そ	
	カラマツ 臼田 108号	S 44年度	0.23	52は	
	カラマツ 臼田 109号	S 44年度	0.40	53い	
	カラマツ 臼田 110号	S 44年度	0.56	54は	
	シラベ 臼田101~109号	S 44年度	0.86	73ろ	
	シラベ 臼田110・111号	S 44年度	0.39	73む	
	カラマツ 上田 1号	S 33年度	0.13	1026り	
	カラマツ 上田 2号	S 33年度	0.98	1016ち	
	カラマツ 上田 3号	S 33年度	0.54	1074に	
	カラマツ 上田 6号	S 33年度	0.55	1074よ	
	カラマツ 上田 7号	S 33年度	0.42	1119に	
	カラマツ 上田 8号	S 35年度	0.27	1141ぬ	
	カラマツ 上田 9号	S 35年度	0.32	1143よ	
	カラマツ 上田 101号	S 36年度	0.20	1004ち	
	カラマツ 上田 102号	S 36年度	0.10	1004り	
	カラマツ 岩村田 20号	S 33年度	0.18	2050ち	
	カラマツ 岩村田 30号	S 33年度	0.64	2050と	
	カラマツ 岩村田 37号	S 33年度	0.10	2055り	
	カラマツ 岩村田 38号	S 33年度	0.10	2055ぬ	
	カラマツ 岩村田 39号	S 33年度	0.10	2055ろ	
	カラマツ 岩村田 44号	S 33年度	0.10	2055わ	
	カラマツ 岩村田 48号	S 33年度	0.25	2019ぬ	
	カラマツ 岩村田 102号	S 35年度	0.08	2044よ	
特別母樹林	特45-3	S 46年度	5.32	2030は・つ	霧上の松系天然アカマツ
	特45-6	S 46年度	5.56	83む	ハヶ岳系天然カラマツ
	特45-7	S 46年度	2.63	84ぬ・わ	
	特45-10	S 46年度	10.74	1004に・ち・り	

(単位：ha)

種類	名称	設定年	面積	位置 (林小班)	備考
巨樹 巨木	茂来山のコブ太郎 (トチノキ)	H12	0.09	24め	「巨樹・巨木に係る自主的な保全活動の推進について」(平成11年12月20日付け林野業第182号林野庁長官通達)により選定された巨樹・巨木が賦存する林分である。
	弘法大師のさかさ杖 (シナノキ)	H12	(2.40)	1011へ	

(2) フィールドの提供

ア ふれあいの森

(単位：ha)

名 称	面 積	位 置	設 定 の 目 的 等
軽井沢ふれあいの森	98.70	2101い〜れ・ ハ、2102い〜 わ	協定相手方 どんぐり運動の会 協定年度 平成13年度 目 的 野鳥の生息に配慮しながら多種多様の生息する森林づくりを行う。
計	98.70		

イ 遊々の森

(単位：ha)

名 称	面 積	位 置	設 定 の 目 的 等
御代田町遊々の森	7.83	2030ち・ り・ね	協定相手方 御代田町長 協定年度 平成15年度 目 的 森林を活用した多様な体験活動を通じ、学校及び地域全体で子供たちの「生きる力」を育むとともに、郷土を知り、森林・自然に対する意識の高揚を図る。
中野区遊々の森	9.05	2085ろ・は・ ぬ	協定相手方 中野区長 協定年度 平成18年度 目 的 子供たちが、思いやりの心など豊かな人間関係や社会性、生きる力を育むための体験活動の一環として、豊かな森林環境教育や自然体験活動を継続的に推進することを目的にしている。
和田小学校黒耀の森	2.35	1133-1ほ	協定相手方 長和町立和田小学校 協定年度 平成20年度 目 的 小学校校舎の一部に協定箇所のカラマツを使用されたことから、子供たちは森林に興味を持ち、ゆかりのある場所で自然学習等を継続的に行いたいという要望から。
計	19.23		

(3) レクリエーションの森以外のその他の森林空間利用タイプの施業方法

(単位：ha)

対象団地	面積	位置(林小班)	施業等
荒船・兜岩	205.61	2ぬ・る、3う・の・ま〜こ、4ぬ〜け・き・ひ・も・ん 2・ハ・ニ・ハ〜チ、5つ・ら・む、6ろ・と・ぬ・よ・ た・そ・ね〜ら・リ、7た	カラマツ・ウラジロモミ等の人工林については間伐を繰り返しながら針広混交林に誘導する、ミズナラ・クリ等の天然林については必要に応じ間伐等を行い針広混交林に誘導するが、細部については荒船不動尊風景林の施業に準ずる。
茂来山	0.09	24ぬ	森の巨人たち百選に選ばれた通称こぶ太郎と呼ばれるトチノキを保護・管理するため保護協議会規約により行うこととする。
北八ヶ岳	0.63	117ぬ・ハ	北八ヶ岳自然休養林の風景ゾーンの施業に準じて行うこととする。
湯の丸・高峰	210.28	1006イ、1011ハ、1012い〜ハ・つ・ま・け・え〜 き・ラ、1013い・ろ・わ〜う・ハ・ヨ・タ、2007ほ、 2011は、2166ろ・は	湯の丸・高峰自然休養林のバッファゾーンの取扱いであり、風景ゾーンの施業に準じて行うこととする。
菅平	41.26	1073ろ・イ、1074わ〜よ・つ・ね	菅平野外スポーツ地域に隣接し、林齢30年生前後のカラマツ人工林で構成されている。間伐を繰り返しながら針広混交林に誘導する。
大門峠	148.42	1114ハ〜リ・イ、1115い〜と・リ〜ぬ・む・う・ハ・ ニ	国道152号線大門峠周辺に広がる林齢35年前後のカラマツ・ウラジロモミ等の人工林を主に一部に広葉樹天然林が含まれている。人工林は間伐を繰り返しながら針広混交林に誘導する、天然林は必要に応じ間伐等を行い針広混交林に誘導することとする。
北白樺	115.90	1117い・ほ・と・イ〜ホ、1121い・ろ・ぬ・る・た・ つ・ね・イ〜ニ・ハ・ト	北白樺風致探勝林周辺に広がるカラマツを主とする人工林で、周辺には大門野外スポーツ地域等がある。北白樺風致探勝林の施業に準じて行うこととする。

(単位：ha)

対象団地	面積	位置(林小班)	施業等
和田・男女倉	415.12	1119いろそイロ、1120いろへとり・ロ、1128ろにちりたなロニハル、1129いほ1ほ3へわイ、1130いハ、1132-Ⅰろにへちるイロ、1132-Ⅱへちイ、1133-Ⅰわなイ、1133-Ⅱとたらまイロニハトヨタレツ	男女倉自然観察教育林及び鷹山野外スポーツ地域の周辺のカラマツを主とした人工林で一部に広葉樹天然林が含まれる。人工林については間伐を繰り返しながら針広混交林に誘導する、天然林については必要に応じ間伐等を行い針広混交林に誘導する。細部については男女倉自然観察教育林及び鷹山野外スポーツ地域の施業に準ずることとする。
ビーナスライン沿線	405.25	1135はハとりたイニ、1136いほとくまふこてハウ、1146いそねくふイ、1147いはとちたむおまふあめみもすロ、1148いは、1160ほとちハ、1161ハちリハ、1162はりぬよら	ビーナスライン風景林等に沿う背景林の位置付けにあり、主としてカラマツ人工林及び若齢広葉樹天然林で構成されている。人工林は間伐を繰り返しながら針広混交林に誘導し、天然林は必要に応じ間伐等を行い針広混交林に誘導する。
軽井沢	1,296.36	2075いわ、2079いろ、2080は、2081い〜に、2082いほ、2083いハ、2084ろそ、2085い、2086いほへち、2087いはほの、2088はにハハ、2089はほハ、2093いイ、2095いハイ、2096いろにぬ、2097にほちそなう、2106いほちぬ、2107ろにとち、2109ほ・2110ろはほち・るかたれつらう、2111いはほち、2114はりわね、2115るたれ、2119ろほとちるわたそロ、2120ハちるわよつむイニ、2126い〜にとぬるかたつねむうおロ・ホト、2127いろにほるお、2128いハとリぬれそイニ・ホ、2129いろほぬわよホヌ、2130いはとリよつら、2137ほ・2138い〜に・るたイハ、2139ほちぬかれそイハ、2140ろハ、2170ト	国際リゾート軽井沢と活火山で有名な浅間山を眺望でき、軽井沢自然観察教育林を始め、幾つかのレクリエーションの森を中核とした地域で、カラマツ及びアカマツ人工林とミズナラ・クリ・ニレ等の天然林で構成されている、人工林は間伐を繰り返しながら針広混交林に誘導する、天然林については必要に応じ間伐等を行い大樹に誘導する、なお、国道146号線沿線及び白糸ハイランドウェイ沿線については必要に応じ浅間山の眺望を確保するための修景施業を行うこととする。

(単位：h a)

対象団地	面積	位置(林小班)	施業等
大平山・平尾山	56.81	2141に・イ、2142ほ・ち・り・る・か・れ・イ、2144い	大平山については妙義荒船スーパー林道沿線に位置し、カラマツ人工林にミズナラ・クリ等の天然性広葉樹が侵入した林相を呈している。さらに間伐を繰り返しながら針広混交林に誘導することとする。平尾山については間伐を繰り返しながら大樹の森に誘導する。